

# 留 学 報 告 書

記入日:2016年5月15日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ミネソタ州立大学モアヘッド校 現地言語: 英語
留学期間	2015年8月～2016年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	paralegal, political science <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年5月13日
明治大学卒業予定年	2018年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬-12月中旬 2学期:1月中旬-5月中旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	6200人
創立年	1887年

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料	7,135.00	円	
宿舍費	4,848.00	円	
食費	2,040.00	円	
図書費		円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費	120.00	円	
保険費	1,197.00	79290円	形態:
渡航旅費		280760円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	約 17,300.00	円	

## 渡航関連

渡航経路:Narita-Chicago-Fargo

渡航費用

チケットの種類 \_\_\_\_\_

往路 \_\_\_\_\_

復路 \_\_\_\_\_

合計 \_\_\_\_\_ 280760円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Air Link

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 )

3)住居を探した方法:

大学のHP

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

1人の部屋で快適でした。寮のフロアメイトたちとも仲良くなれて楽しかったです。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: 大学内にある病院に薬局も付いていて、学内保険で無料で診断できます。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

international student office

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学からメールで地域の危機情報が送られてきます。田舎で穏やかな地域だったため、犯罪などは目立ちませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内はwifiが通っていますが、寮では、ルーターだけは購入する必要があります。現地で携帯電話を購入するか、ソフトバンクのアメリカ放題を利用することをお勧めします。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的にクレジットカードと送金してもらえるキャッシュパスポートを利用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

アジアマートで調達できますが、簡易な日本食を持っていくといいと思います。

## 卒業後の進路について

1)進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7)その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
31 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 19 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Fundamental Writing	基礎文法
科目設置学部・研究科	english
履修期間	fall semester
単位数	3
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Professor Imbarrato
授業内容	エッセイの指導
試験・課題など	エッセイ
感想を自由記入	基本的なエッセイの書き方が学べます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Paralegal	パラリーガル入門
科目設置学部・研究科	paralegal
履修期間	fall semester
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Pprofessor Kukowski
授業内容	アメリカの法律や法律事務に関することについて
試験・課題など	毎回事例問題や小エッセイなどの課題、3 回のマークと筆記試験
感想を自由記入	教授がとてもいい方で、アメリカの基本的な法律が学べてよかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
You and the Law	法社会学 I
科目設置学部・研究科	paralegal
履修期間	fall semeser
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	professor Gompf
授業内容	アメリカの基礎法律
試験・課題など	3 回の課題と 3 回の試験
感想を自由記入	基礎的なアメリカ法の知識が入ってよかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American National Government	
科目設置学部・研究科	Political Science
履修期間	Fall semester
単位数	3

本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Professor Headrick
授業内容	アメリカの憲法全般
試験・課題など	課題と記述式の期末試験
感想を自由記入	アメリカ憲法の成り立ちから現在の政治問題までを幅広く理解できました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
American Economy		アメリカ経済
科目設置学部・研究科	Economic	
履修期間	fall semester	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Professor Bolduc	
授業内容	アメリカの経済について	
試験・課題など	毎回のクイズと試験	
感想を自由記入	ミクロ、マクロの基礎を学べて、分かりやすい授業でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
English Composition		英語
科目設置学部・研究科	English	
履修期間	Spring semester	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Professor Imbarrato	
授業内容	エッセイ	
試験・課題など	エッセイとテスト	
感想を自由記入		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Legal Environment of Business		ビジネスロー
科目設置学部・研究科	accounting	
履修期間	spring semester	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 分が 回	
担当教授	Professor Ralf	
授業内容	国際的なビジネスローについて	
試験・課題など	毎回クイズやエッセイ、試験など。また、裁判傍聴など	
感想を自由記入	授業内容はとても興味深くわかりやすかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Constitutional law Civil Rights and Liberties	憲法
科目設置学部・研究科	Political Science
履修期間	Spring semester
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Professor Kramer
授業内容	アメリカ憲法
試験・課題など	事例問題を扱った記述形式の試験
感想を自由記入	アメリカの人種問題などを憲法や、判例などを通して、学べてとても身になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Criminal Justice	刑法
科目設置学部・研究科	Criminal Justice
履修期間	Spring semester
単位数	4
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回
担当教授	Professor Powell
授業内容	アメリカの刑法
試験・課題など	4 回のテスト
感想を自由記入	アメリカの刑事事件を通して刑法を学んだ。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Social Psychology	社会心理学
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	spring semester
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	professor Powell
授業内容	社会心理
試験・課題など	4 回のテスト
感想を自由記入	映像を通して心理学や社会学を学んだ。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	toefl の勉強開始
10月～12月	選考
2015年 1月～3月	出願
4月～7月	留学前の準備
8月～9月	アメリカにてオリエンテーションなど 授業開始
10月～12月	授業、その他イベント
2016年 1月～3月	final exam, 冬休み
4月～7月	講義、その他イベント、帰国
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	高校生の時から決めていた目標で、グローバル化に伴い語学力の向上はもちろん、外国の方と触れ合うことによって、異文化で生活する機会をもちたかったためです。自分の考えの幅が広がり、新たな世界観をもつことができればいいなと思いました。また、大学入学後日本の基本的な法律を学んだことによって、海外の法律にも興味を持ち、より詳しく現地で学びたいと思ったからです。親元や生まれ育った日本を離れて自立した人間になることも理由の一つです。
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	留学で最も重要となってくることは、語学力です。現地では、授業はもちろん、友人たちとの会話もすべて英語です。語彙力やリーディングはもちろん、実践に備えたりリスニング力やスピーキング力を伸ばすことが重要です。TOEFLの問題や英語のCDを利用して、自宅で実践的な練習をしました。また、講義では、毎回膨大な量のリーディングやエッセイの課題がだされます。そのために、復習を兼ねて、単語帳をやり直したりもしました。
この留学先を選んだ理由	まず、第一にミネソタ州立大学を選んだ理由としては、法律系の授業が豊富に開講されていることです。アメリカのビジネスローや憲法、刑法など様々な分野を自分の興味にそって履修することができます。また、ミネソタ州は都会ではないので、物価も他の地域に比べて高くはなく、田舎ながらの自然が溢れており、アメリカではよく心配される犯罪なども少なく安全に生活できると思ったからです。勉学に集中するために、とてもいい環境だなと思いました。
大学・学生の雰囲気	ミネソタ州立大学には、世界各国から来た留学生が多数在籍しているので、アメリカ人だけではなく、いろいろな国の友達を作ることができます。みんなとても優しい人たちばかりで、困っている人がいるときはみんなで助け合うような温かい町だと思います。学校内に学食やコンビニのようなものもありますし、大学付近にスーパーなどもあるため、不便だということはありません。また、スポーツジムも設備されており、キャンパス周辺で十分に生活できます。
寮の雰囲気	ミネソタ州立大学には、寮が多数あり、すべて、キャンパス内にあるため、徒歩 5 分圏内でとても便利です。入寮時にオリエンテーションがあり自己紹介をします。ドームメイトでゲームをしたり、時々イベントなどもあるため、友達作りには不自由しません。トイレ、お風呂、洗濯機などは共用ですが、ほとんどの寮はフロアに数カ所あるため、不便に感じることはありませんでした。Wifi は、自分の部屋で使うためには、ルーターだけ買わなければいけません。また、冷蔵庫や電子レンジは各部屋にはついておらず、これも共有です。
交友関係	到着後すぐに、international student 専用のオリエンテーションがあります。そこでは、10 人ほどのグループに分かれて、キャンパス見学をしたり、ゲームをしたりします。そこで積極的に話しかけることによって、たくさんの外国人の友達ができます。ほとんど母国語が英語でない生徒ばかりなので、言葉が拙くても、笑顔と積極性を忘れなければ、確実に友達を作ることのできる最適の場所です。私は、バレーボールのチームに所属したため、その場でも友達を作ることができました。休日は友人とダウントウンやデパートに遊びにいったり楽しめます
困ったこと, 大変だったこと	ミネソタ州は、夏はそこそこ暑いのですが、11 月頃には雪が降り出し、1、2 月頃には、体感温度-20 度を超えます。大雪で路面も凍り、特別な防寒対策が必要です。大雪が降るとバスが止まったり、外に出づらくなるので、その点は不便でした。4 月頃まで、寒さは続くので耐え凌ぐのが大変です。また、田舎なので、電車が通っていません。しかし、バスは大学の学生証があれば無料で乗れるし、30 分に一本はくるので、生活する分にはなんとかやっていけます。
学習内容・勉強について	私は法律学を専攻していました。授業は普通の講義形式からディスカッション形式まで様々でした。内容は物によっては、とても難易度が高く、課題やリーディングなど莫大な量を課されました。わからないことがあるときは、教授のオフィスアワーを十分に活用しました。さらに、法律を専攻している生徒は多くなかったため、同じようなクラスを何個も取っている友達とスタディーグループを作ったりして、協力体制をとって何度も助けてもらいました。
課題・試験について	課題は基本的に膨大なリーディングや、教科書などを基にした練習問題などがほとんど毎授業後に出されます。試験は、事例問題形式の記述式試験を行う科目が多く、法律用の語彙を覚えたり、法令を覚え、事例に適用し、文章化するという点がとても大変でした。しかし、予習復習を怠ることなく教授のオフィスアワーを活用すれば、ついていくことはできました。英語のクラスでは、エッセイを中心に添削してもらいながら、文法などライティングのスキルを伸ばしました。

大学外の活動について	大学外では、私自身は宗教を持っておらず、今までは無関心だったのですが、友達に連れられ、キリスト教の毎週日曜の会に参加し、お祈りをしたり、バイブルの勉強も兼ねられるので、とても刺激的でおもしろかったです。アメリカにはいろいろな人種、宗教の人がたくさんいるため、日本とは違った文化が見られて良かったです。また、何人かの国の人とチームを組んで、バレーボールのリーグに参加したりして、スポーツは世界共通なんだと実感できました。
留学を志す人へ	まず、留学を達成するには、いろいろなことを積極的に行う必要があると思います。積極的に語学力試験をうけたり、自分にあった様々な大学を調べてみたり、日々、努力を惜しまず準備を進めることが重要です。現地に行ってからはずっと大変なことが待っています。積極的に話しかけていかないと、友達もできません。語学力云々の前に、積極的にいろいろな人と交流することで、より充実した日々を送れると思います。諦めないでトライし続けることで、確実に自分の力になると思うので、頑張ってください。

## 1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中						終日自由時間	終日自由時間
	授業	授業	授業	授業	授業		
午後	授業	授業	授業	授業	自由時間		
	授業	自由時間	授業	自習	自由時間		
夕刻	自習	自由時間	自習	自習	自由時間		
夜	ジム	ジム	ジム	ジム	自由時間		

